

短くても胸躍る夏休み



終業式を前に新型コロナウイルスの感染対策を確認し合う子どもたち＝志方東小

東播2市2町の先頭を切り、加古川市の公立小中学校などで31日、1学期の終業式があった。新型コロナウイルス感染拡大で臨時休校が長引いたことを受け、

コロナで16日間 加古川の小中校で終業式

今年夏休みは、当初の予定より22日間短い16日間に例年とは違う夏となるが、子どもたちは「いっぱい遊ばたい」と胸を躍らせていた。

（千葉翔大）

の曲の演奏に合わせ、指の間まで丁寧に手を洗うダンスを見せるなど、普段からできる予防策を紹介した。

終業式では、同小の片岡正策校長が「今年の夏休みは短いので、思い出づくりはいつもより難しいかもしれないけれど、読書をしていっぱい知識を蓄えてください」と呼び掛けた。

1年生の小林大暉君（7）は「コロナは怖かったけど、算数を頑張ったよ。（夏休みは）お父さんとサッカーがしたい」と話し、2年生の橋本奏侑君（8）は「明日からセミをいっぱい捕って、体操の習い事を頑張りたい。お買い物に行くのも楽しみ」と笑顔だった。6年生の高松夏希さん（11）は「（1学期は）もっと勉強したかった。夏休みはお姉ちゃんとたくさん話をして、家族との時間を大切にして過ごしたい」と話した。

高砂市、稲美、播磨町の夏休みは8日から。

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ【 】

あなたの学校は、夏休みはいつからですか。な・つ・や・す・み ではじまることばをたくさんかんがえましょう。

な

つ

や

す

み

すいか